

総合数理学部の新設とともに 中野に第4キャンパスを開校

明治大学学長 福宮 賢一氏

グローバル社会を生き抜く力を持った人材を育成

本誌 明治大学の二〇一三年度一般入学試験志願者数は一〇万九千九百四十人で、四年連続で日本一になりましたが。

福宮 本学は、一度の入試で複数学部への出願が可能な全学部統一入試を全国の八都市で実施するなど、入試制度改革を積極的に行ってきた。また、キャンパスの施設整備や新学部の設置など教育環境の整備充実を図っているほか、「就職の明治」として学生の就職キャリア支援に力を入れていること、さらには国際化を強力に進め、グローバル化社会で活躍できる人材の育成に積極的であることなどが受験生や保護者に評価され、志願者数が四年連続で全国一位になったと思います。本学では一位を目標にしたことはありませんが、志願者数が増えることは良いことであり、今後も歴史と伝統に安住することなく学内の改革を進め、本学の持っている教育力を鍛え、そしてさまざまなサービスを学生に提供していきたいと考えています。

力を持った人材の養成を目指していますね。

福宮 グローバル化が進み、目まぐるしく変化する現在では、若者たちは厳しい競争社会を生き抜かなくてはなりません。このため、こうした社会で競争力を持ち、なおかつ人として尊敬される学生の養成が急務になっており、本学では「しなやかでたくましく、生き抜く力を持った人材」の育成を目指し、世界に通用する知識をしっかりと身に付ける教育を進めています。グローバル社会では、対峙する相手が多様なバックグラウンドを持つっており、その相手を説得するには論理的な思考力や専門的な知識とともに、豊かな教養や異文化理解など人間的なしなやかさも必要です。また、多様な相手の人権を尊重したうえで、自分の意見を適切に示すことが大切です。これは本学の建学の精神である「権利自由、独立自治」に通じるものです。「権利自由」には人権の尊重が含まれ、「独立自治」には個人のたくましい自立が謳われており、この建学の精神が今のグローバル社



駿河台キャンパス

会には最も大事だと考えています。

本誌 大学の国際化にも力を入れていますか。

福宮 本学では、グローバル社会を生き抜く力を養うため、国際化も強力に推進しており、二〇〇九年度には文部科学省からグローバル三〇の国際化拠点大学（全一三大学）の一つに選定され、留学生の受入数はほぼ目標に達しています。また、昨年九月には文部科学省の大学教育改革の支援事業に、本学が申請した国際化に関する三つのプログラムも採択されました。さらに、カリキュラ



福宮賢一（ふくみや・けんいち）氏

1946年8月東京都生まれ。1969年・明治大学商学部卒業。1974年・同大学院商学研究科博士課程単位修得退学。同年・明治大学商学部専任助手。同講師、同助教授を経て、1988年より同教授。2004年・商学部長。2010年・副学長。2012年4月・学長に就任。専門は産業組織論。

明治大学の教育理念：「権利自由、独立自治」。学部：法学部、商学部、政治経済学部、文学部、理工学部、農学部、経営学部、情報コミュニケーション学部、国際日本学部、総合数理学部。大学全体の学生数：3万2433名（2013年4月1日現在）

ムや留学制度の改革、そして海外大
学とのきめ細かい連携を図るために
秋入学を含め、本格的なセメスター
制やクォーター制への移行を検討し
ています。

本誌 昨年六月には立教大学、国
際大学と国際協力人材の育成に関す
る協定を締結しましたね。

福宮 本学と立教大学は、山手線
沿線私立大学図書館コンソーシアム
の一員として図書の利用を行っ
ており、本学と国際大学は大学間交
流に関する包括協定を締結していま
す。また、三大学はともに国際系研
究科、学部、学科を有しており、国

連アカデミック・インパクトに参加
し、グローバルイシューの解決に向
けた行動を行うことを宣言していま
す。こうした連携をさらに推進、発
展させることにより、国際協力人材

育成の教育プログラムを共同で開発
することなどを目指して協定を結ん
だもので、昨年夏休みには三大学共
同で夏季集中国際協力英語プログラ
ムを実施しました。なお、この三大

学による「国際機関等との連携によ
る国際協力人材育成プログラム」
は、前述した三つの採択プログラム
のうちの一つです。

本誌 今年四月に総合数理学部を

開設しましたが。

福宮 総合数理学部は二〇〇八年

開設の国際日本学部が続く、本学一
〇番目の学部で、現象数理学科、先
端メディアサイエンス学科、ネット

ワークデザイン学科の三学科を設け、
現象数理学科では単に現象を解明す
るだけでなく、数理モデルを多様な

分野に応用できる力とセンスを備え
た人材の育成を図っています。また、
先端メディアサイエンス学科では数
理科学に根ざしたアプローチから情
報技術を用いた先端メディアやコン
ピュータシステムに関わる教育と研

究、ネットワークデザイン学科では

持続可能な社会の実現に向けての高
度で柔軟なネットワークシステムの
立案と構築に関わる教育と研究を行
っています。

本誌 四月には駿河台、和泉、生
田に続く、第四のキャンパスを東京
中野区に開校しましたね。

福宮 中野キャンパスの建設は、
一昨年の創立一三〇周年の施設整備
計画の一環として実施されました。

本学では、この新キャンパスを「国
際化・先端研究・社会連携」の拠点
として位置づけ、新設の総合数理学
部を設置するとともに、国際日本学
部を和泉キャンパスから移転させま
した。また、大学院では先端数理科

学研究所、理工学研究所の新領域創
造専攻を生田キャンパスから、国際
日本学研究所を和泉キャンパスから
移転させ、さらに理工学研究科建築
学専攻に国際プロフェッショナルコ
ースを新たに開設しました。今後、
中野キャンパスを「明治大学が『次
代を招き、世界へ発信する大学』へ
と飛躍するための拠点」として、自
治体、企業、他大学との連携など
によりグローバルコモンの実現を目指
していきます。